

第4回 新宮市文化複合施設管理運営検討委員会 会議概要

日時：平成28年4月15日（金） 午後1時30分～午後4時30分

場所：新宮市人権教育センター

【出席委員】

堀内委員、関委員、川口委員、船上委員、山本委員、高委員、勢古委員、那須委員、雑賀委員、竹中委員、城庵委員

【欠席委員】

榎本委員、丹羽委員

【事務局】

楠本教育長、片山教育部長

文化振興課：畑尻課長、須崎課長補佐、前地係長、南係長、古川主事、篠原主事

図書館：道前係長

【支援業者】

シアターワークショップ：伊東氏、川本氏

【傍聴6名】

<開会>

・教育長、委員長挨拶

<報告1. 基本設計見直しの進捗状況について>

【事務局】

前回の検討委員会で示したとおり、2棟に修正に向けて、全体スケジュールを確認しながら修正設計を進めているが、現在示せる段階ではない。できる限り早く報告できるようにする。

<議事1. 文化ホール事業および図書館事例について>

パワーポイントを用いて、シアターワークショップ伊東氏より事業説明を受ける。

（趣旨、今後の進め方について）

今回の検討委員会では事業の紹介を通じて勉強を進めて大きな方向性を決定する。それに基づき具体的な事業案を市民ワークショップで募り、検討委員会でまとめていくという流れで行う。

【文化ホールについて】

（事業方法の紹介、文化ホール）

- ① 自主事業（文化ホールの運営者が主体となっていく事業）
 - ・自主事業は運営責任を負う
 - ・全国、近畿、和歌山県平均の収支差額の情報
 - ・分類（鑑賞型、普及育成型、参加創造型）別の傾向

② 貸館事業（借りる人が主体となつて行う事業）

- ・貸館事業は利用料金の設定が課題。
- ・近年は「事業」と捉えて、文化創造につながる制作・技術支援をして質の向上を行うホールが増えている。

（文化ホール事業分類）

鑑賞型、普及育成型、参加創造型に分けられる。文化は一朝一夕には育たないため、普及育成型、参加創造型を充実させる傾向にある。

文化複合施設では、図書館との連携プロジェクトも検討する必要がある。

（検討内容）

- ・【自主事業の方針】自主事業は行う方がよいが、どの程度行うか。
（収支、地理的事情などから興行の期待は小さいため自主事業は行うべき。）
- ・【事業種類の方針】3つの事業分類のうち、どれに注力するか。
- ・【既存文化活動との兼ね合い、複合施設の特徴を活かす事業】
既存の文化協会の施設利用と自主事業のバランス。熊野学に関する事業をどのように取り扱っていくか（建物はなくなっても機能はなくなったわけではない。）。

市民ワークショップでは、模造紙を使って重点、継続、長期的に実施する事業など制限なく提案を得る。

（一般的な事業ジャンル×事業分類の例）

音楽×参加創造 → 有名アーティストの前座で地元ピアノ教室の演奏などのプログラム

民族芸能×鑑賞・普及育成 → 舞台・客席などを気にせずに広間で行える事業

全般×普及育成・参加創造 → 舞台に立つひと、支えるひとを育てるプロジェクト事業
（ステージ作り応援部）

ダンス×鑑賞・普及育成 → 体を動かし子供たちと一緒にイベントを作り上げる事業

（参考費用）

収支赤字分の負担をいくらに設定するかを検討して、その範囲でできる事業を選択して全体構成を作る。和歌山県平均収支差額約△1,000万の情報があるため、仮にその想定とした場合には、収支比率が約50%のため、2,000万までの事業構成ができるというように考える（500万×2事業、100万×5事業、50万円×10事業のように選定していく。）。

ただし、鑑賞型に比べて、普及育成・参加創造型の収支比率は大幅に低い傾向にある点に注意が必要。

「市民が年間最低1つの事業には参加している」といった目標を設定して事業ジャンルのバランスを考えることも大切。

【図書館について】

(一般的な図書館業務)

文化ホールとの連動した企画も検討課題。選書で市民参加ができるような事業の紹介。

(検討事項)

- ・ 2棟案でカフェのあり方が見直されるかと思うが、カフェ運営の取り扱いも検討課題
(図書館とカフェの関係性が重要視されている傾向にある)。
- ・ ホール機能も図書館の付属の施設と捉えて、共同利用スペースをうまく使う。
(大規模な読み聞かせ会、音響機材や練習室なども利用して活動ができる。)
- ・ 熊野学アーカイブの展開

(各既存施設の参考事例)

武蔵野プレイス(指定管理)・・・コンセプトは従来の図書館の機能を外に広げるといふもの。生涯学習、市民活動、青少年活動支援の3つの機能を併せ持っている。カフェは図書館と一体。小さい空間を複数設置することでリラックスしてサードプレイス的なスタイルも特徴。

まちとしょテラソ(直営)・・・理念は交流と創造を楽しむ文化の拠点。まちじゅう図書館(オブセオープンライブラリー)が特色。カフェコーナーあり。指定場所での飲食可。広い空間スペースがあるが(館長)「さわいでいた小さな子供たちも、環境により、学習をして強制されずに行動を自然とわきまえられるようになった。大人も子供も共存できるような空間作りを行っている。」

由利本荘市文化交流館カダーレ(直営)・・・ホールと図書館が一体型。物産館(農協と連携)とレストランあり。人口約8万人で年間利用者が約46万人。道の駅のような機能を持つ。

出雲中央図書館・・・地域の誇りを大事にする図書館。図書館地域づくり事業<図書館の力>プロジェクトを実施。郷土資料ブックガイドなども作成。地域の文化的資源を図書館で収集して、ネットワークに乗せて展開している。

津島市立図書館・・・郷土資料の校訂復刻版を発刊。郷土資料の収集・整理が盛ん。

シアターワークショップの説明は以上

【委員】

- ・ 市民力が重要。行政と市民が協働して施設を生きたものにしたい。熊野は日本に誇れる土地と市民が自覚をして郷土を大切にすると結果、全国に広がりをもたせるといふ。それを念頭に事業計画を作りたい。
- ・ 市民の活動をまとめていくシステム構築が必要。ボランティアを集めて教育するという一元化したシステムが必要。

- ・教育委員会と学校が連携して 10 年、20 年先を見て文化を育成していくことが大切。中高生へのアプローチをして 10 年後、ボランティアや公演で戻ってくるような将来につながる活動にしたい。
- ・上富田文化会館では 6 年前までは買い取り型で事業を運営していた。予算が削減される中で、住民が喜ぶ有名アーティストは呼べない。1 つでも多く公演を提供したいため、自治総合センター（宝くじ）のコミュニティ助成事業や、共催で行う事業にシフトした。年間 12～15 程度の事業数。8 割が体験型で人材育成も兼ねて行っている。活動はコミュニティから波及していくものも多い。
- ・カフェ機能、サードプレイスの空間の話聞き、図書館のイメージが変わったため行きやすくなった。
- ・新しい施設のため、既存の発想を変化させないと運営が成り立っていかない。ボランティアの機運が高まってきているので、うまく巻き込みたい。過疎地であることを逆に武器とする、企業とコラボするなどのアイデアが必要。
- ・三輪崎、佐野、木の川、高田、熊野川地区の図書計画をどうするかなど市全体としての図書館計画を考えないといけない。観光に注力した形はどうか。学校の図書館との連携も大切。
- ・熊野の名のつく伝統芸能はたくさんある。全国から呼び込みたい。地元の芸能後継者作りも喫緊の課題。市民の盛り上がりが重要。
- ・既存の活動を集めて整理すると視野が広がる。年代別に事業を選定していくのは効果的。市民の参加力を高めてシステム構築ができれば良い。
- ・市側からの情報提供が少ない。委員も含めて勉強不足。文化の拠点となる施設ため、文化の香りをつけたい。伊東氏には、専門的観点から誤っている議論は指摘してほしい。

【委員長】

自治力は育ちあい文化、良い点をつなぎ合わせる事が重要。施設の完成を楽しみにしている市民は多くいる。批判から提案へ、提案から行動へ、市民と行政が一体となって進める。

【伊東氏】

地元の関係や特別事情がない限り、プロは無料で呼ぶことには反対。ずっと無料は続かないため、お金が回らなくなる悪循環に繋がる。仕組みは工夫できるため、企業が出資して、文化の育成に参加してもらおう（チケットを人材育成のために志の高い者に譲るなど）。貸館事業では受益者負担と税負担のバランスを考える必要がある。

市民ワークショップは、検討委員会と連動するため、委員の参加をお願いしたい。

<議事2. 今後のスケジュールについて>

検討委員会開催（案）

- ・ 7月：事業計画、広報計画
- ・ 9月：施設管理計画、組織計画（伊藤氏より2回ほど検討委員会が必要と危惧）
- ・ 10月：管理運営計画の提案
- ・ 11月：管理運営計画のまとめ

（決定事項）

- ・ 市民ワークショップ① 5月15日（日）
- ・ 市民ワークショップ② 6月12日（日）
- ・ 第5回管理運営検討委員会 7月 5日（火）

<議事3. 市民ワークショップ「事業計画を考える」について>

【伊藤氏】

事前知識としてある程度の事業計画を説明のうえ、自由に提案を募る市民ワークショップにする。30人ほど参加があれば成立する。

【事務局】

市民ワークショップの募集は、市ホームページ、新聞広告や、小中学校へも参加を募る。完成したチラシは委員にも配布する。

- ・ 委員長より委員には市民ワークショップ開催チラシを5部送るよう指示あり。

<閉会>